

プリウス(ZVW30 系)

ブレーキフルード交換要領

■対応車種:プリウス(ZVW30 系)

■対応年式:平成 21 年 5 月～

G-scan を使用して行うプリウス(ZVW30 系)のブレーキフルード交換要領を記載しますので、参考にしてください。



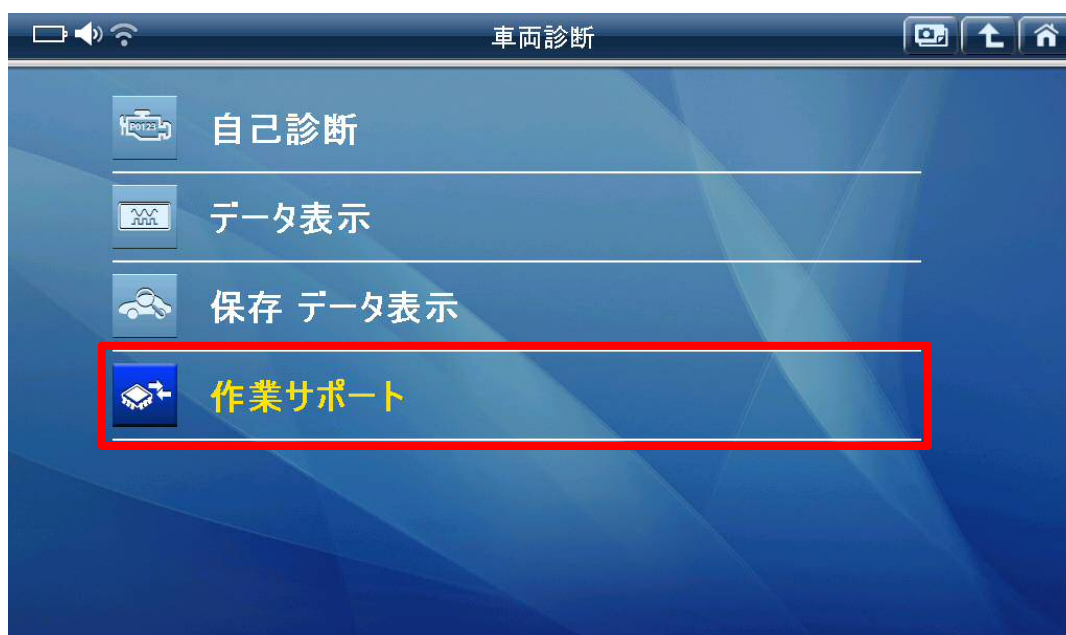
※注意※

- ・ブレーキフルードの交換は車両停止状態、車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行してください。
- ・エア抜きを行う際はシフトレバーPレンジでパーキングブレーキを効かせた状態で作業を行なってください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで行なってください。エアが完全に抜けていないと車両に悪影響を及ぼすだけでなく、ブレーキ回路に支障をきたし、正常なブレーキ操作ができなくなり、交通事故を引き起こす原因となります。
- ・交換中はリザーバタンク内のブレーキフルードが常にリザーバタンクを満たしている状態にしてください。

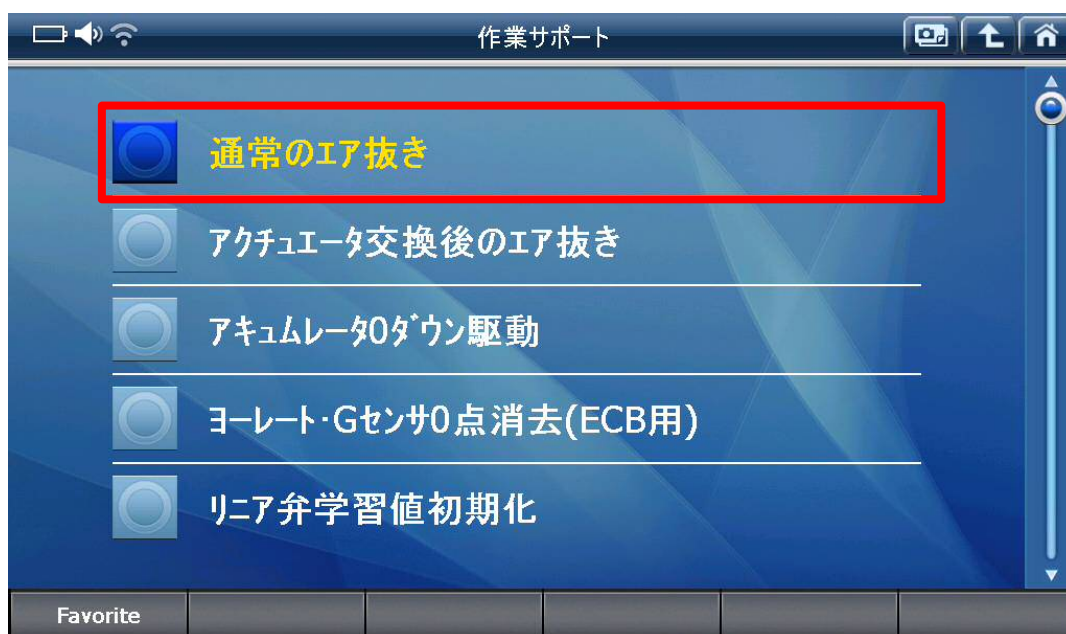
ブレーキフルードの交換要領

1. IG OFF の状態で、G-scan を DLC3 コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
2. IG SW ON の状態で、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『ABS/VSC』又は『ABS/VSC/ARS』を選択してください。

3. 診断メニューにおいて、『作業サポート』→『通常のエア抜き』の順番で項目を選択してください。エア抜き項目が表示されます。

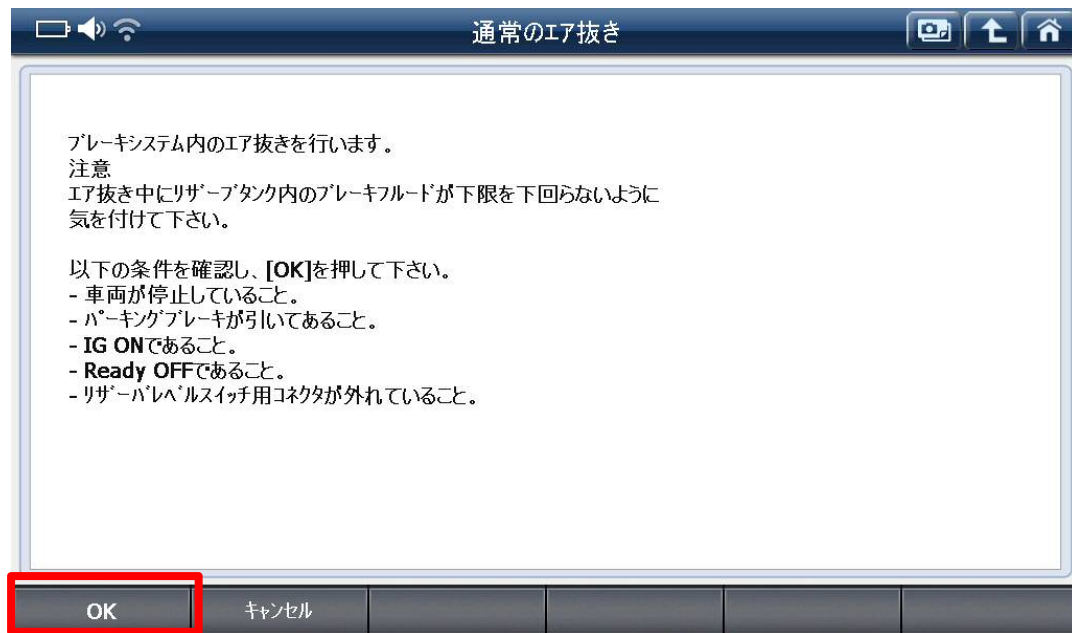


〈図: 作業サポートを選択〉



〈図: 通常のエア抜きを選択〉

4. 注意メッセージ及び条件内容を確認後、OK ボタンを押してください。



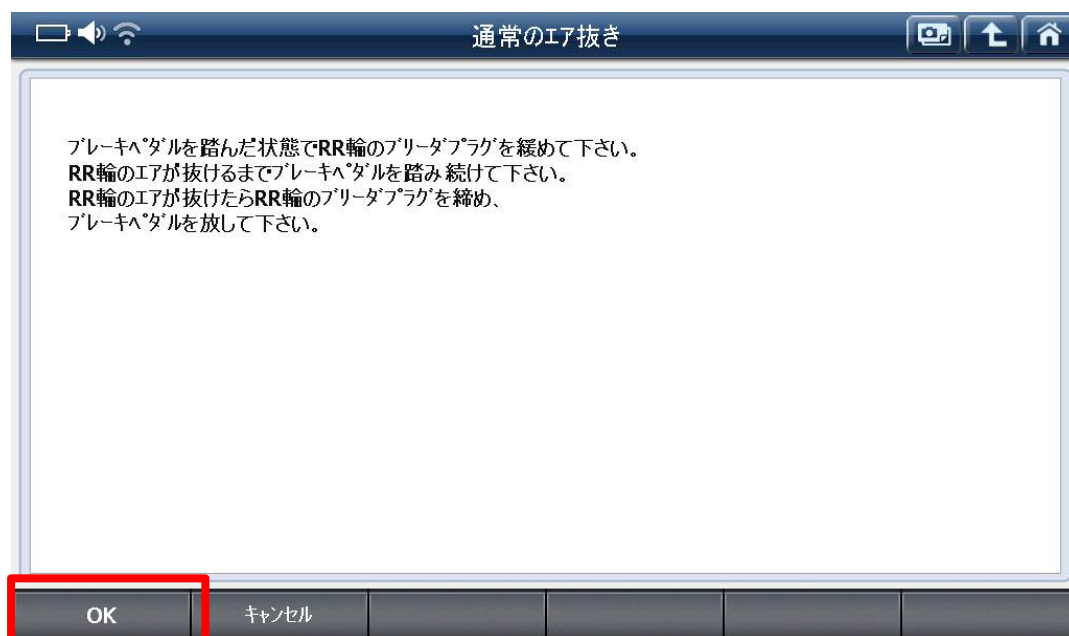
〈図：注意メッセージ及び条件内容の確認〉

5. ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、ポンプモータおよびソレノイド駆動中にリア右のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。

エア抜きはブレーキペダルをペダリングせず、踏み込んで保持した状態で行なってください。完了後、OK ボタンを押してください。

※注意※

- ・モータの駆動は連続 100 秒を目安にして、ペダルを離して停止してください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・ブリーダプラグの締め付けトルク： 11N・m {112kgf・cm}
- ・リザーバのフルード液面が MIN レベル以下にならないように補充してください。
- ・フルード交換実施中にアキュムレータ圧低下により、ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありませんのでそのまま作業を続けてください。

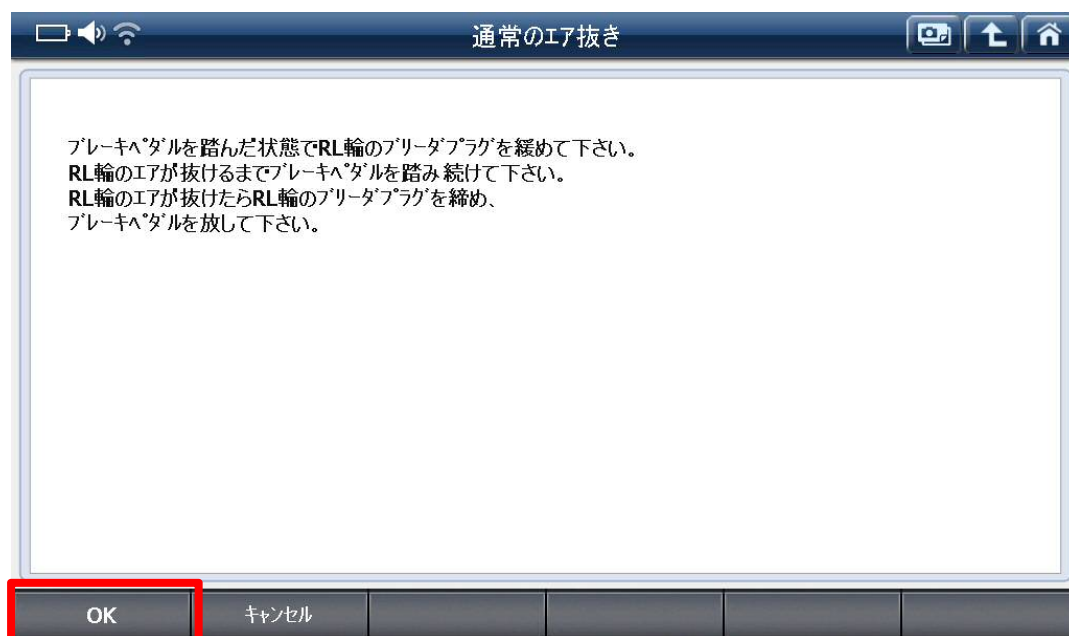


〈図：リア右エア抜き画面〉

6. ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、ポンプモータおよびソレノイド駆動中にリア左のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。
エア抜きはブレーキペダルをペダリングせず、踏み込んで保持した状態で行なってください。完了後、OK ボタンを押してください。

※注意※

- ・モータの駆動は連続 100 秒を目安にして、ペダルを離して停止してください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・ブリーダプラグの締め付けトルク： 11N・m {112kgf・cm}
- ・リザーバのフルード液面が MIN レベル以下にならないように補充してください。
- ・フルード交換実施中にアキュームレータ圧低下により、ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありませんのでそのまま作業を続けてください。

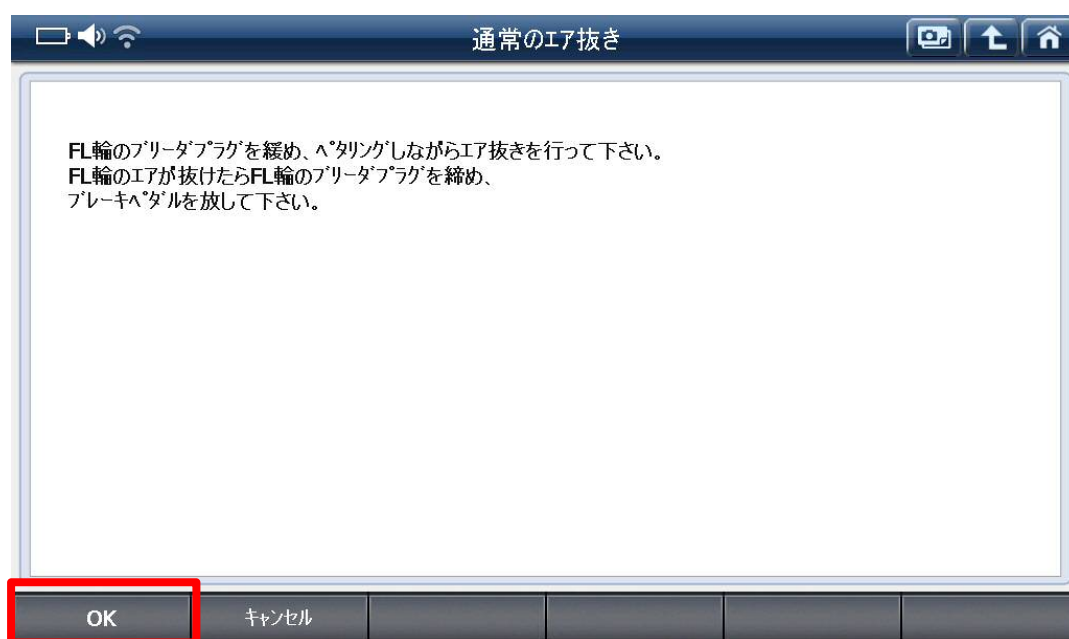


〈図:リア左エア抜き画面〉

7. ブレーキペダルをペダリングし、フロント左のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。完了後、OK ボタンを押してください。

※注意※

- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・リザーバのフルード液面が MIN レベル以下にならないように補充してください。
- ・ブリーダプラグの締め付けトルク： $8.3\text{N}\cdot\text{m}$ { $85\text{kgf}\cdot\text{cm}$ }
- ・フルード交換実施中にアキュムレータ圧低下により、ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありませんのでそのまま作業を続けてください。

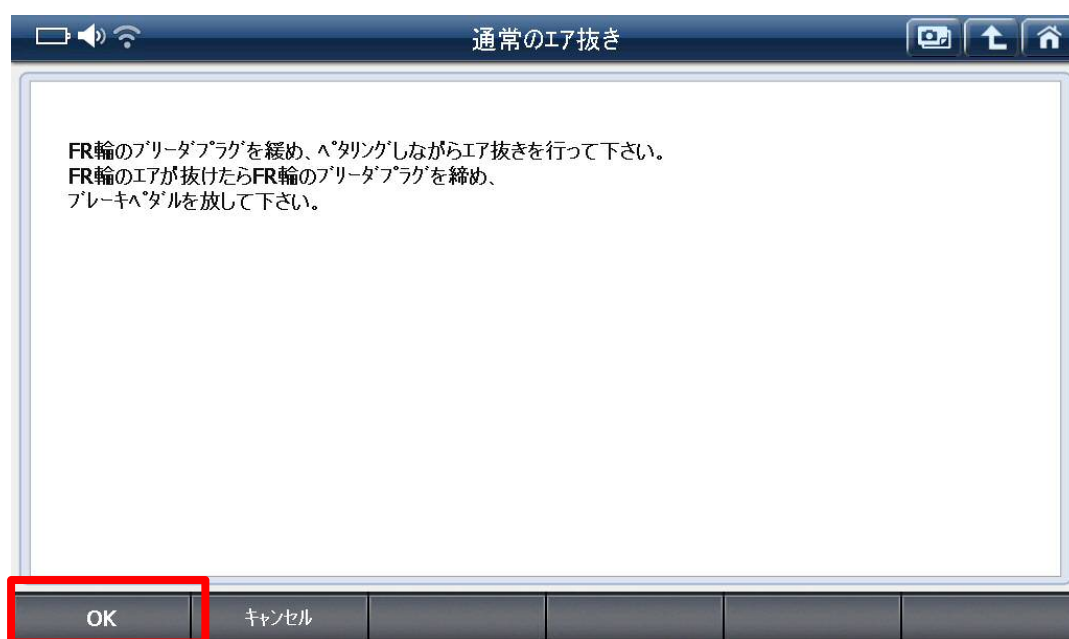


〈図：フロント左エア抜き画面〉

8. ブレーキペダルをペダリングし、フロント右のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。完了後、OK ボタンを押してください。

※注意※

- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・リザーバのフルード液面が MIN レベル以下にならないように補充してください。
- ・ブリーダプラグの締め付けトルク： 8.3N・m {85kgf・cm}
- ・フルード交換実施中にアキュムレータ圧低下により、ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありませんのでそのまま作業を続けてください。



〈図：フロント右エア抜き画面〉

9. フルードの量を調整します。G-scan の画面の指示に従ってアキュムレータの圧力を下げてください。

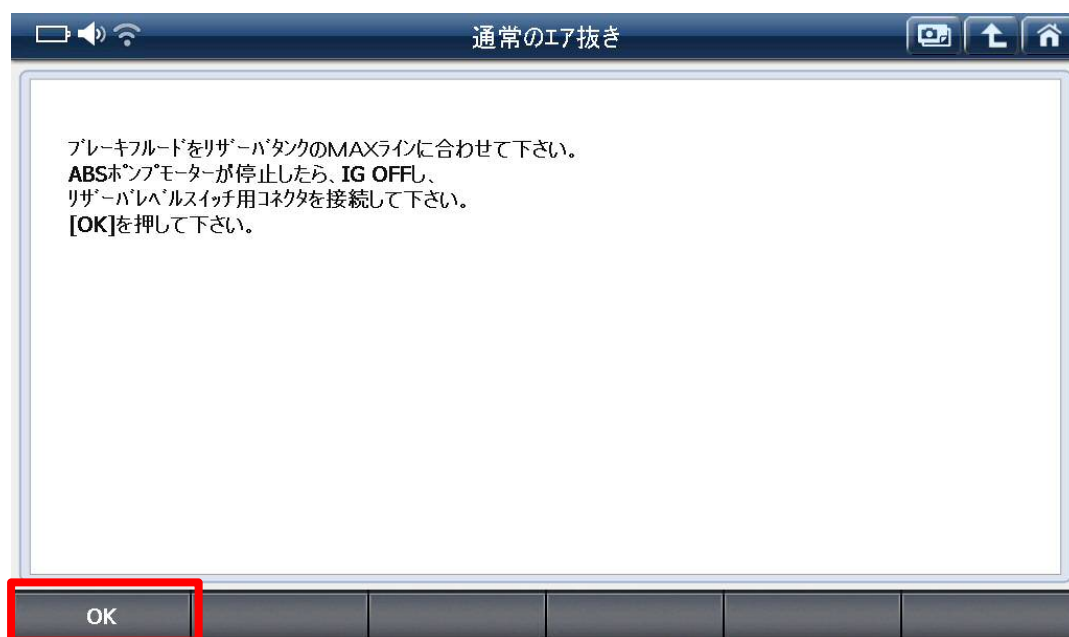
※注意※

・同様の作業を 6 回繰り返します。



〈図:アキュムレータの圧力低下実施画面〉

10. アキュームレータの圧力低下が終了したら、画面の指示に従って操作してください。



〈図: 操作内容の確認〉

11. エア抜き処理が完了したら OK ボタンを押してください。



〈図: エア抜き処理完了画面〉

12. G-scan の診断メニューにおいて『自己診断』を選択して記憶された故障コードを消去してください。